



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔薬剤部〕

指標名

がん化学療法患者指導件数

トレーシングレポート件数

目標・ゴール

- ① がん化学療法患者指導件数 150 件/月
- ② トレーシングレポート 30 件/月

※ トレーシングレポート（服薬情報提供書）とは、院外薬局にて患者面談より聞き取った項目（アドヒアランス・残薬調整・複数病院受診・OTC や健康食品の服用など）の治療上必要な情報を医師へフィードバックするものです。保険薬局で「処方医師へ情報提供した方が望ましい」と判断された内容を、当院薬剤部で集約し、医師へ情報伝達することにより情報の共有化を図るとともに、今後の治療へ繋げていくことを目的としています。

目標・ゴール達成による効果

がん化学療法の治療内容、副作用を患者と共有する。

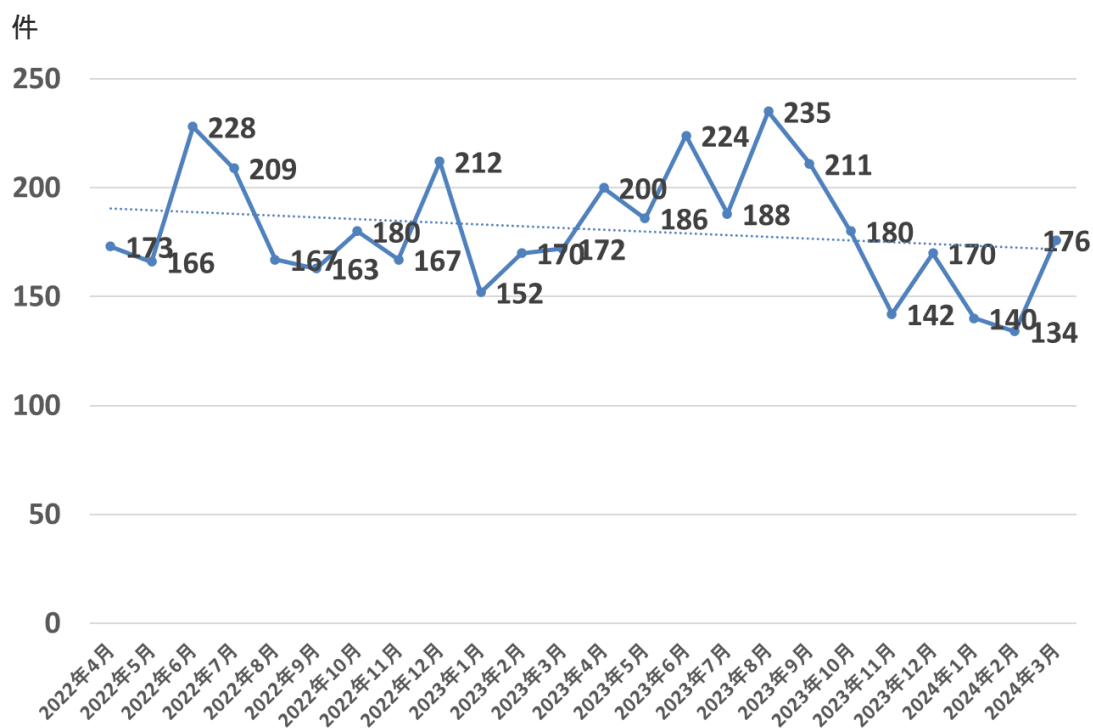
保険薬局薬剤師と情報共有することにより、薬物療法の安全性向上および保険薬局薬剤師との連携強化を図る。

目標・ゴールに対する成果の状況

①外来がん化学療法患者指導件数

(2022 年度平均 179.9 件/月)

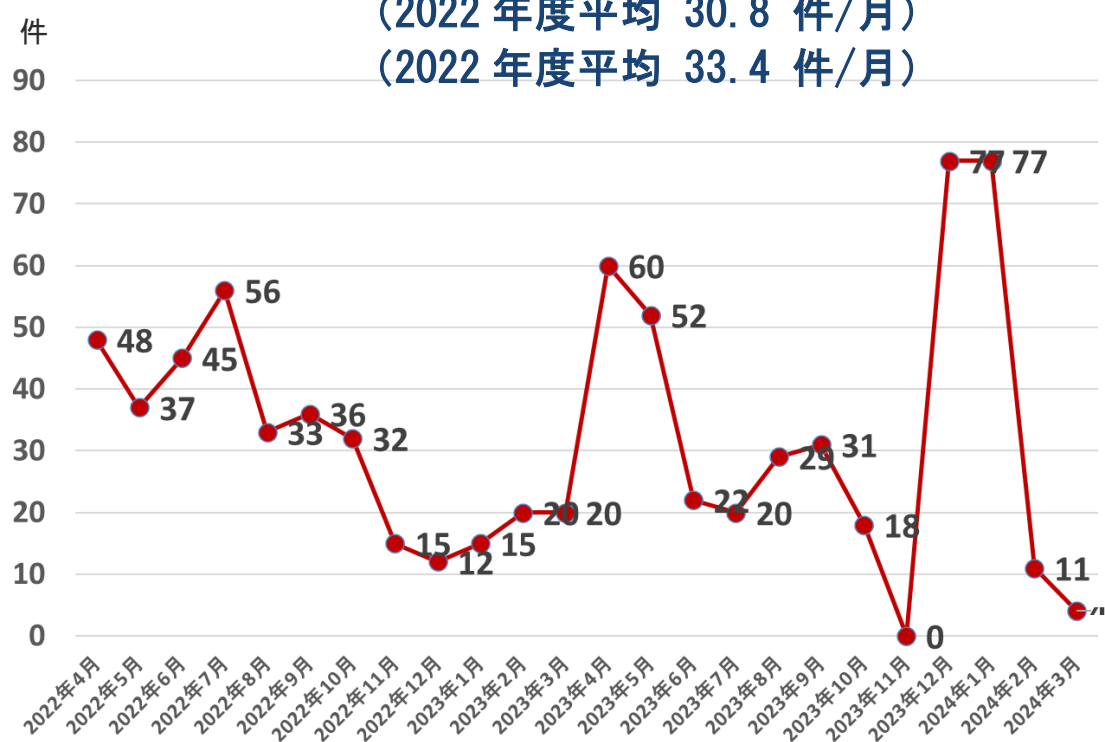
(2023 年度平均 182.2 件/月)



②トレーシングレポート件数（保険薬局との連携）

(2022 年度平均 30.8 件/月)

(2022 年度平均 33.4 件/月)



〔成果〕

①がん化学療法患者指導件数

(平均) 182.2 件/月 (目標 150 件/月以上)

②トレーシングレポート件数

(平均) 33.4 件/月 (目標 30 件/月以上)

目標・ゴール達成度

☒S :大幅に目標を上回った

☐A⁺:目標を多少上回って達成

☒A :目標を達成・・・①②

☐B⁺:目標を少し下回った

☐B :目標を下回った

☐C :目標を大幅に下回った

☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの成果と課題・改善策

がん化学療法を施行している患者さんは多く、今後も継続的に治療内容、副作用を患者さんと保険薬局薬剤師とともに情報共有することにより、がん化学療法の安全性向上を図っていく。

トレーシングレポートは 2023 年度から保険薬局薬剤師とトレーシングレポートの事例検討会を実施し、継続的に地域連携を推進している。

昭和大学病院のがん化学療法トレーシングレポートの詳細については
当院薬剤部ホームページよりご確認ください。

薬剤部紹介	チーム医療活動紹介
教育・研修・業績集	後発医薬品の採用状況
昭和大学フォーミュラリ	一般名処方の全面導入
ポリファーマシー対策	昭和大学病院がん化学療法レジメン
院外処方箋への身体情報・検査情報の記載	製薬企業の方へ



URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUH/department/support/pharmacy/regimen.html>

●トレーシングレポートでの報告の流れ

保険薬局にて聴取した事項を記載の上 FAX（情報提供が望ましい情報で即時性の低いもの）



薬剤部（レポート内容を集約）



処方医へ情報提供したうえ、必要な場合、処方医からの回答等を保険薬局へフィードバックする